

第4次北上市地域福祉計画（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

No.	項目	意見の内容	市の考え方
1	第4章 地域福祉推進のための施策の方向 基本目標3 充実した福祉サービスの仕組みづくり	P37.基本施策⑦包括的な相談支援体制の構築 ・分野別の各相談機関が相談ごとを丸ごと受けとめられる体制や仕組みを整えます、とありますが、なるべく早期に整えてほしいです。 医療的ケア児、者の分野でいうと特に医療的ケアが必要になる子どもが病院から退院し、地域で日常生活を過ごす時に慣れない医療的ケア、移動時の手段、子どもとの過ごし方、また親の仕事復帰など様々な悩みがでてきます。また、ケアを必要とするので親から離れて過ごす際は看護師などの支援が必要になりますが、そのようなことを相談できる場所が少ないと感じます。また、相談する場所と手続きをする場所などがバラバラにあるため、1つの場所で済むと移動が困難なケア児にとっていいのではないのでしょうか。 地域に気軽に相談できる場所、1つの場所で様々な機関と連携がとれる場所が必要だとおもいます。 ・医療的ケア児や療育を必要とする子どもたちの、就学前に子どもが通う様々なニーズに対応できる療育センターや通園場所などがもっと必要だとおもいます。親の仕事復帰のため、また早期の療育を希望するケースが増えていると感じます。	・「重層的支援体制整備事業」の実施により、総合的な相談支援が可能な体制を構築してまいります。 ・医療ケア児・者を対象とした取り組みについては、関係者・関係機関と連携し施策を進めてまいります。

第4次北上市地域福祉計画（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

No.	項目	意見の内容	市の考え方
2	第4章 地域福祉推進のた めの施策の方向 基本目標4 暮らしやすい地域 環境づくり	P42.基本施策⑪住み慣れた地域での暮らしを支える取り組み ・車両からバギーや車椅子への乗り降りの際、ケア児をチャイルドシートに乗せ、荷物を乗せバギーや車椅子を車に乗せたりすると、思っている以上に時間がかかり、雨の時などにケア児や介助者が濡れてたり、機械類が濡れてしまい、とても困ることが多い。公共施設やスーパーなどの障がい者用駐車場に入口まで続く屋根を設置してほしい。（道の駅石鳥谷のような駐車場だととても助かる） ・「人にやさしい駐車場使用証」を取得し障がい者用駐車場に車を停めるが、駐車場自体が少なかったり、高齢者の方が車を止め使用できなくてとても困る。障がい者用駐車場と高齢者用など使用場所を分けたり、周知をしてほしい。 ・吸引器やパルスオキシメーターなど、移動時に必要な物を外出先でも充電できるように、コンセント、電源を貸してほしい。 ・公共施設、公園など、思っている以上に段差があったり、バギーや車椅子が通れる幅がギリギリの通路が多い。スロープや広めの通路の確保をお願いしたい。 ・障がい者用トイレにユニバーサルシートを増やしてほしい。ベビーのサイズを卒業してしまうとベビーベッドでは小さくてオムツの交換もしてあげられない。 ・ベビールームにも医療ケア児用にユニバーサルシートを設置してほしい。 ・赤ちゃんの駅のように、医療ケア児がオムツ替えをしたりできる場所の周知をお願いしたい。少し介助者とゆっくり座って荷物の整理ができるような場所を増やしてほしい。 ・車椅子用トイレにユニバーサルシートを設置してもらっているが、ユニバーサルシートを倒しバギーや車椅子を横付けしてオムツ替えをしようとするとう介助者、ユニバーサルシート、バギーや車椅子でとてもトイレ内が狭く困る。今後設置をしようとしてくれる場所は広くしてほしい。小児用のバギーは特に車椅子よりも大きいので身動きがとれなくなる。	・御意見について庁内に周知し、施設等を所管する担当課と共有いたします。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進し、あらゆる人が暮らしやすいまちづくりを目指すため、官民間問わず、理念の啓発に努めます。

第4次北上市地域福祉計画（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

No.	項目	意見の内容	市の考え方
3	第4章 地域福祉推進のための施策の方向 基本目標2 地域福祉を支えるネットワークづくり 基本目標3 充実した福祉サービスの仕組みづくり	P35.基本施策⑥多様な主体の連携による支援基盤づくり P39.基本施策⑨多様で適切な福祉サービスの確保・創出 ・医療ケア児や重症心身障がい児が通える療育やデイサービス、レスパイトを行える施設を増やしてほしいです。市内の子供たちが他市の施設を頼って通わなくても済むように、北上市内にサービスを受けられる施設を充実させてもらいたいです。行政が軸になって、既存の病院や高齢者施設を含め、医療ケア児等のレスパイトや在宅レスパイトができる環境を築き、介護者や家族が安心して豊かな生活をおくれるようにしてもらいたいです。	・医療ケア児・者を対象とした取り組みについては、関係者・関係機関と連携し施策を進めてまいります。
	第4章 地域福祉推進のための施策の方向 基本目標4 暮らしやすい地域環境づくり	P42.基本施策⑪住み慣れた地域での暮らしを支える取り組み ・5歳の息子はベビー用のオムツ交換ベッドでは、身体がはみ出してしまいます。ユニバーサルシートを、障がい者用の個室や、それだけでなく各性別のトイレにも設置してもらえたらいいと思います。個室でなくても、身体の成長した子の介助のために、カーテンでしきって人目を避けられるような状態にするなど考えてもらいたいです。 ・長男の通う市立小学校への、二男の副学籍交流を希望していますが、肢体不自由な二男はバギーでの移動が必須となります。長男の通う小学校にはエレベーターがありません。バギーや車いすでの動線を確保していただきたいです。 ・また特に小・中学校のトイレは、きょうだい児行事等への参加もふくめ、学校内にユニバーサルシートのある、バギーや車いすでも入れる広い個室が必ず必要だと思います。二男も定期的に長男の通う学区の小学校に行き、地域の一員として同級生や同窓生とふれあいながら成長でき、そのことが基本目標1、①福祉教育の推進について…にあるような、子どもたちの福祉の心をはぐくむことにつながっていただけるといいなと思います。	・御意見について庁内に周知し、施設等を所管する担当課と共有いたします。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進し、あらゆる人が暮らしやすいまちづくりを目指すため、官民間わず、理念の啓発に努めます。